

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	一般国道55号 奈半利安芸道路(安田～安芸)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：高知県安芸郡安田町東島 至：高知県安芸市伊尾木	延長	9.1km		
<p>事業概要</p> <p>奈半利安芸道路(安田～安芸)は、阿南安芸自動車道の一部を構成する道路で、高知県安芸郡安田町東島から高知県安芸市伊尾木に至る延長9.1kmの自動車専用道路である(阿南安芸自動車道は徳島県阿南市から高知県安芸市に至る高規格道路である)。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>当該区間の整備により、南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、物流拠点や空港、高次救急医療機関等へのアクセス向上により、高知県東部地域における産業振興や観光振興、緊急搬送など医療活動を支援するものである。</p>					
全体事業費	約490億円	計画交通量	約9,300台/日		
<p>事業概要図</p>					

事業評価結果

費用便益分析	B/C	1.1 (0.4)	総費用 10,474億円 (事業費: 9,765億円 維持管理費: 503億円 更新費: 207億円)	総便益 11,041億円 (走行時間短縮便益: 9,460億円 走行経費減少便益: 1,244億円 交通事故減少便益: 337億円)	基準年 令和3年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=0.98 (交通量 -10%)	B/C=1.2 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=1.02 (事業費 +10%)	B/C=1.1 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=1.02 (事業期間 +20%)	B/C=1.1 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目		評価	根拠		
	者への影響	自動車や歩行	渋滞対策	-	注目すべき影響はない。	
			事故対策	-	注目すべき影響はない。	
			歩行空間	-	注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活	地域経済	◎	【速達性・アクセス性の向上により医療活動を支援】 ・高知東部地域から第三次救急医療機関への搬送時間を短縮し、第三次救急医療機関の60分圏域人口が拡大。 [室戸市市境～高知医療センターの所要時間] 現況 60分 ⇒ 整備後 56分(約4分短縮) [高知県東部地域(安田町以东)の第三次救急医療機関の60分圏域人口カバー率が増加] 現況 9,300人(34%) ⇒ 整備後 約10,600人(39%)(約1,300人増加(5%増加)) [室戸市消防本部管内の第三次救急医療機関の60分圏域人口カバー率が増加] 現況 0人(0%) ⇒ 整備後 約1,100人(7%)(約1,100人増加(7%増加))	
			災害	◎	【産業振興や観光振興に寄与】 ・通行止めが発生する国道55号に代わり、災害に強い当該路線が安定的な出荷を支援。 [安田～安芸間を移動する経路における通行止め箇所及び防止点検要対策箇所] 現況 4箇所(国道55号経由)⇒整備後 0箇所(奈半利安芸道路(安田～安芸)経由) ・高知龍馬空港からのアクセス向上により、高知県東部地域の観光振興を支援。 [高知龍馬空港から安田町以东(北川村役場)間の所要時間の短縮] 現況 50分 ⇒ 整備後 47分(約3分短縮)	
環境			-	注目すべき影響はない。		
		地域社会	-	注目すべき影響はない。		
事業実施環境		◎	・計画段階評価手続き完了(H31.2.28) ・高知県知事や沿線自治体首長より早期事業化を要望			

関係する地方公共団体等の意見

【高知県知事】
 一般国道55号(阿南安芸自動車道)「奈半利安芸道路(安田～安芸)」事業の予算化に同意いたします。
 四国地方の高速道路網の骨格をなす四国8の字ネットワークを構成する四国横断自動車道と阿南安芸自動車道は、平常時には、県西部並びに東部の地域経済の活性化を支える重要な社会資本として、災害時には、円滑な救援活動等を確保する命の道として重要な役割を担うことから、県民一同、早期完成を待ち望んでいます。
 この区間が事業化され整備が進めば、県東部では、現道とのダブルネットワークが構築されることにより、大規模自然災害への備えが高まるとともに、移動の定時性が確保され救急搬送の速達性向上などにつながります。これら「命の道」「産業振興や観光振興」は現在の評価指標以上の大きな効果があり、地域の安全・安心を早期に確保することが可能となります。大規模地震発生時の避難・救援などの効果等についても考慮いただきますようお願いいたします。
 本県といたしましては、埋蔵文化財調査や用地買収(地籍調査含む)の早期完了、建設発生土の有効利用に係る調整など、事業が円滑に推進できる環境を早期に整えられるよう、沿線自治体や関係機関と連携し最大限努力するとともに、スピード感を持って取り組んでまいります。
 奈半利安芸道路(安田～安芸)につきましては、周辺地域の観光拠点への誘客拡大や農林水産物の販路拡大、防災力の向上などを後押しするために、本線と地域の観光や産業、防災の拠点をつなぐ県道の整備を行い、観光振興や産業振興の支援、防災機能の強化につなげてまいります。
 今後も、地域の産業・観光振興や災害時の備えを高めるための取り組みを後押しし、地域経済の活性化や地域防災力の向上につなげてまいりますので、「奈半利安芸道路(安田～安芸)」を令和4年度の新規事業箇所として着手していただきますようお願いいたします。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

・費用対便益：便益が費用を上回っている。
 ・手続きの完了：計画段階評価手続き完了(平成31年2月28日)

採択の理由 ※《 》内の値は事業中区間を整備済みとした場合の所要時間・短縮効果・60分圏域人口カバー率

費用便益が一体評価で1.1と便益が費用を上回っているとともに、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、奈半利安芸道路(安田～安芸)の整備により信頼性の高いネットワークを確保し、高知県東部地域の産業振興や観光振興を支援するとともに医療活動を支援するなど必要性・効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものである。
 ※B/Cの上段は徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
<p>南海トラフ地震発生時に住民の避難や緊急物資の輸送を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成。物流拠点や空港からのアクセスが向上することで、高知県東部地域における産業振興や観光振興を支援するとともに高次救急医療機関への速達性・アクセス性の向上により、緊急搬送など医療活動を支援するものである。</p>		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震は今後30年以内の発生確率が70～80%、広範囲で甚大な被害が想定される。並行する国道55号は約8割が浸水。また、土砂流出や越波等による通行止めが発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・圏域の安全・安心を支える基盤として必要不可欠なインフラである四国横断自動車道、高知東部自動車道及び阿南安芸自動車道等の整備の推進による四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※四国地域新広域道路交通計画（R3.6） ・規格の高い道路と一般国道等の一般道とのダブルネットワークを構築、規格の高い道路のミッシングリンクの解消を進めて多重性・代替性を確保する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 高知県東部地域（安田町以東）には高度救急医療などを行える高次救急医療機関がなく、高知市の施設に依存せざるを得ない状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・自然災害発災後の救助・救急、医療活動等やサプライチェーンの寸断回避を図るため、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ・地域に即した「コンパクト+ネットワーク」の構築を図るため、都市の生活を支える都市機能（医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業）をまちの拠点となるエリアへ誘導する。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 全国1位の収穫量を誇る高知県産のゆずは、高知市に位置する園芸流通センターで一元集荷・出荷。高知県産ゆずの約3割を占める高知県東部地域（安田町以東）からの集荷便が土砂流出や越波等による通行止め等の発生時に不通となり、安定的な出荷が困難。 高知県全体の観光入込客数は増加傾向であるが、高知県東部地域（安田町以東）への観光では、高治龍馬空港・高知新港からの移動に時間を要するため、観光入込客数は伸び悩み。 	<ul style="list-style-type: none"> ※四国圏広域地方計画（H28.3） ・広域観光周遊ルートの形成により複数の県に跨がって、テーマ性等を持った一連の魅力あふれる観光地をネットワーク化。 ・圏域内外の交流活性化、物流基盤機能強化等による活力と魅力の向上に必要不可欠なインフラとして、四国8の字ネットワークの形成を目指す。 ※第4期高知県産業振興計画 ver.2（R3.3） ・安芸地域のユズを中心とした中山間振興
その他		

事業の有効性									
<p>・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消及び累積脆弱度の改善によりネットワーク全体の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、速達性向上による観光振興や地域産業支援、高度救急医療などが行える第三次救急医療機関への搬送時間短縮に寄与するなど、有効性の高い事業と評価できる。</p>									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度（防災機能ランク）		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	高知県庁	安田町	66 (4)	0.88 [C] 〔1.00〕 [D]	0.78 [C] 〔0.81〕 [C]	927.41 (31.37)	0.18 (0.04)	0.12 (0.25)	○ (◎)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了（平成31年2月28日）

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は、徳島JCT～高知JCTを対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。